

1 基本項目	事務事業名	生物多様性地域戦略推進事業			担当部署	課名	環境安全課		
	予算事業名	生物多様性地域戦略推進事業				係名	環境政策係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1004			
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度	継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標5 豊かな自然と共生したまち				算科目	款	衛生費
		政策名	12 自然環境の保全・継承					項	保健衛生費
		施策名	35 水と緑の保全と活用					目	環境保全費
		基本事業名	35-3 生態系の保全					アウトソーシング導入状況 導入予定なし	
根拠法令	生物多様性基本法			総合計画等への記載			総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	魚津市の生物多様性の保全と持続可能な利用のための指針となる生物多様性うおづ戦略に掲げた各種施策を実施する。
	対象	人、自然
	手段 (活動指標)	セミナーの開催や自然環境保全等体験会の実施。学識経験者、地域や教育関係者、関係事業者等から組織する推進協議会で戦略の進捗や取り組みを検討する。
意図 (成果指標)	生物多様性の保全等の重要性が市民に広く認識されるとともに、各種施策の推進により魚津市の生物多様性が保全される。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 推進協議会開催回数	回	4	4	1	1	100.0%	1
	② セミナー回数	回	2	3	1	1	100.0%	1
	③							
	① 生物多様性の意味まで分かる人の割合	%	35.0	37.2	37.0	36.8	99.5%	40.0
	②							
成果指標	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	2,590,800	2,076,539	239,482	236,759	-88.6%	200,000
	② 委託料	円	4,700,000	3,591,000	67,000	37,800	-98.9%	100,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	16,000	11,275				
	⑤ その他	円	2,069,000	1,154,980	193,518	30,560	-97.4%	200,000
	支出合計 (A)	円	9,375,800	6,833,794	500,000	305,119	-95.5%	500,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	9,890,000	5,933,650				
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円	6,000					
	⑤ 一般財源	円		900,144	500,000	305,119	-66.1%	500,000
	収入合計	円	9,896,000	6,833,794	500,000	305,119	-95.5%	500,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	2	-33.3%	2
	② 年間所要時間	時間	1,220	1,220	600	900	-26.2%	600
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	5,124,000	5,124,000	2,520,000	3,780,000	-26.2%	2,520,000
総費用 (A+B)	円	14,499,800	11,957,794	3,020,000	4,085,119	-65.8%	3,020,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> 戦略の進捗や取り組みについて協議するため、学識経験者、地域や教育関係者、関係事業者等からなる推進協議会を設置し、会議を1回開催した。 市民等への周知啓発のためにセミナーを開催した。 事業者等への周知啓発等のためパンフレットを作成配布した。 市民等の自然とのふれあいの機会を創出し、生物多様性の理解と保全意識の高揚を図るため、自然環境保全活動等体験会を開催した。 	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
						1次評価 (課長総括)	2次評価	不要	
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	法において地方公共団体の責務とされている			
				目的の妥当性	1 妥当である	地球的な環境課題への対応として全国全ての地域での取り組みが求められている			
				対象の妥当性	1 妥当である	市の課題に直接関わるものである。			
有効性	有効性	A	B	目標達成度	2 目標どおり	概ね成果指標の目標を達成している			
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	博物館等関係係が生物多様性保全に寄与する事業を実施している			
				上位施策への貢献度	1 高い	施策の水と緑の保全と活用や基本事業生態系の保全の目標達成に貢献している			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	必要最低限の経費、人員で実施している。			
				実施主体の適正化	1 適正である	市の責務でもあり、他に主体となれる実施団体等はない。			
				負担割合の適正化	1 適正である	市域の生物多様性や自然環境の保全を推進するためのものであることから、市の負担は適正である。			
	1次評価 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	後の方針 (評価結果及び今後)	平成26年3月に「生物多様性うおづ戦略」を策定したところであるが、戦略に基づいた政策等を展開されるよう関係部課等と連携していかなければならない。				評価結果			